

栄光をつかめ!

白熱の決勝大会

2024年10月20日(日)・11月16日(土)、第21回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会「決勝大会」を開催。中国5県の代表8チームが「Balcom BMW 広島総合グランド野球場(広島市)」、「晴海臨海公園球技場(大竹市)」にて、躍動する姿を見せました。

中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会とは?

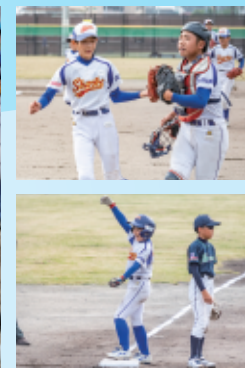
「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、2004年より〈中国ろうきん〉の社会貢献活動の一環として、中国地区軟式野球連盟と〈中国ろうきん〉の共催で開催し、2024年で第21回目を迎えました。

2024年度 参加チーム数	
鳥取県	59
島根県	81
岡山県	96
広島県	135
山口県	105
合 計	476



1日目 待ちに待った決勝大会！全員野球で悔いのないプレーを

決勝大会1日目を予定していた10月19日(土)は、生憎の雨模様。この日は開会式のみを行い、準々決勝の全4試合は翌日10月20日(日)に行われました。前日の雨が嘘のように上がり、朝から晴れ渡ったグラウンドで、準備万全の選手たちはのびのびと躍動！各チームが日頃の練習の成果を発揮することができました。ようやく試合ができる喜びからか、スタンドの応援にもひとときわが入り、どの試合も活気にあふれた笑顔が印象的でした。



2日目 真剣な眼差し、笑顔、悔し泣き…全身全霊で挑んだ準決勝&決勝戦

決勝大会2日目は11月16日(土)に行われました。準決勝2試合で攻撃力を見せつけた五日市観音少年野球クラブと岡山庭瀬シャークスが決勝へ進みました。

決勝戦では、シャークスが先制。得点を重ねる中、五日市観音は4回から長打がつながり始めます。次のイニングでは堅い守備も見せ、勢いに乗ります。シャークスも負けじと追加点を入れ接戦が続きましたが、最終回で五日市観音がサヨナラタイムリー！優勝が決まった瞬間にベンチからチームメイトが駆け出し、喜びを爆発させました。両チームともに最後まで声を出し続け、気持ちが入った素晴らしい決勝戦となりました。



広島県代表 五日市観音少年野球クラブ

走攻守そろった安定感のあるチームプレーで、「元気」・「勇気」・「根気」をモットーに全力で戦い抜いた五日市観音少年野球クラブ。優勝が決まった瞬間、応援席では涙も見られました。



岡山県代表 岡山庭瀬シャークス

「一戦必勝」のスローガンどおり、一戦一戦に全力投球で食らいついた岡山庭瀬シャークス。どんな場面でも笑顔を保ち、感情を爆発させる姿が印象的でした。

